

Ocean's Fukuoka

公益財団法人
福岡観光コンベンションビューロー
機関誌

オーシャンズ・フクオカ



- 02 - 03 | FUKUOKA TOPICS : 伝統の街博多へ 国際イベント再来
- 04 | INTERVIEW : 学会主催者に聞く “市民と学会を繋ぐもの”
- 05 | 国際プラネタリウム協会 2026 年大会 福岡に開催決定
| 賛助会員紹介
- 06 | INTERVIEW : 福岡ソフトバンクホークス (九産大インターンレポート)
- 07 | マーケティングデータ
| 毎週★KBM
| 新賛助会員紹介
- 08 | コンベンションカレンダー
| さわらの秋



伝統の街博多へ

22年ぶりに開催！世界水泳福岡大会
福岡グローバルMICEスクールの学生がおもてなし！



ように案内するか等のロールプレイを行い、業務に挑戦しました。

参加した学生からは、「観光案内をする際、ただ相手と話すだけでなく、笑顔で相手に寄り添う大切さが分かった。自分が知らないことを聞かれても冷静に調べながら、紹介することが大切だと思った。」「観光客からの様々な質問を通じて、福岡についての知識を高めることができた。また、積極的にこちらから話しかけないと困っている人は尋ねづらいということを学んで、間違っても英語で話したり、声をかけたりすることが大事だと分かった。」など、実体験から多くを感じ取ったようです。

ハワイから訪れた観光客は「学生たちの英語は素晴らしく、とても親切な対応だった。他人を尊重する日本文化に触れることができました。」と家族で笑顔を見せてくれました。

7月に「世界水泳選手権2023福岡大会」が福岡市で、「世界マスターズ水泳選手権2023九州大会」が福岡、熊本、鹿児島島の3都市で開催されました。日本での開催は、同じく福岡市で開かれた2001年以来22年ぶり。新型コロナウイルス感染症の影響で開催が2年延期となりましたが、会期中は国内外から多くの観光客が訪れました。

そこで活躍したのが「福岡グローバルMICEスクール」*の学生たちです。

開催期間中、おもてなし事業の一環として博多駅前に設置した臨時観光案内所において、ビューロースタッフと共に147名の学生が交代でボランティアスタッフとして観光案内業務に従事しました。

6月に行われた事前研修で観光客に正確な情報の提供を心掛けることや食の嗜好性への配慮を学び、英語ネイティブのスタッフとペアになり実際に店や観光地を聞かれた際に英語でどの



博多駅前の臨時観光案内所は、7月1日(土)から8月6日(日)まで、悪天候を除いて毎日開設され、日本人2,592名、外国人1,608名の総勢4,200名の観光客が訪れた。



海外メディアの取材を受けるFGMSの学生

*「福岡グローバル MICEスクール」(以下 FGMS) は、2019年度から始まった MICE人材育成事業で、福岡の大学生および専門学校生を対象に、MICE業界や観光に関する研修を行うと共に、実際に現場でボランティアとして従事してもらうことで、MICEの運営を体験し、将来の MICE振興を担うグローバル人材の育成を目指しています。2023年度は201名が FGMS に登録し、活動しています。

大相撲十一月場所 福岡

大相撲11月場所(九州場所)・「九州・沖縄 観光と物産展」
～九州がもっと好きになる～ にFCVB が初出展いたします！

「1年納めの九州場所」と言われ、九州の冬の風物詩となっている大相撲十一月場所において実施される“九州・沖縄 観光と物産展”に福岡市のPRと福岡や九州の観光と地域を盛り上げる取り組みを賛助会員の皆様と一緒にいきます。

2023年11月12日(日)からの15日間、毎日約8,000名の来客者の皆様に、地域の様々なPRや地域ならではの物産を販売して参ります！

【参画される賛助会員様(予定)】 ●株式会社 ブランドツール ●株式会社 フジドリームエアラインズ ●株式会社 丸ふじ ●柳川市



国際イベント再来!



4年ぶりに川端通商店街で学会懇親会を開催!

国際バイオメカニクス学会/日本バイオメカニクス学会の懇親会が、川端通商店街を会場に実施され、約1,000名が参加、その7割以上が海外からの参加者で、国際色豊かなイベントとなりました。

2012年に初めて国際会議の懇親会場として川端商店街が利用されて以降、他に類を見ないユニークなパーティ会場(ユニークベニュー)として、国内外から大きな話題を集めました。コロナ禍を隔て、今回約4年ぶりの開催となりました。

国際バイオメカニクス学会は、コロナ後に福岡市で開催される国際会議としては最大級の約1,200名が参加し、7月30日からの福岡国際会議場での会議後、最終日8月3日の懇親会は、福岡での大会を思い出深いものにしたとの大会長(福岡大学/布目教授)の強い思いから、川端通商店街を会場に実施されました。

当日は、商店街組合の協力店からラーメンやうどん、焼き鳥など福岡らしいB級グルメや、和牛ステーキ、寿司など日本食を代表するもの、また宗教等の理由で食事制限のある方々に対応するハラール・ビーガン料理など、さまざまな食事を提供し、地元のクラフトビールや日本酒などとともに楽しみいただきました。コロナ禍では長くオンラインでしか会うことができなかった参加者同士が、久しぶりに顔を合わせて交流できる喜びが伝わってくる熱気に溢れたイベントとなりました。



コロナ禍の真っ最中に国際学会招致が決まったものの、屋内集会の人数制限などから晩餐会をどの様に開催するかという難しい宿題が課せられました。最もスマートな解決策が、福岡の街の魅力を全面に出した川端商店街での晩餐会でした。

晩餐会は日本の夏祭りの雰囲気もあいまって、参加者には大変好評だったと思います。この様な発想は凄いなとお褒めの言葉も多くいただきました。(福岡大学 布目寛幸)



懇親会担当田村先生(左)と

初開催!

家族で楽しく学んだ「脈博~Heart Beat Expo~」@福岡PayPayドーム

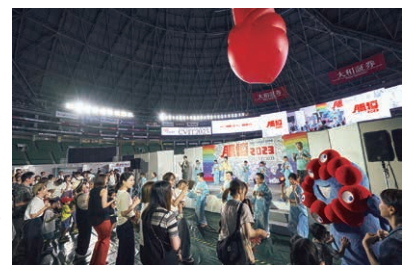
第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2023)開催報告

8月4日~6日の3日間、ヒルトン福岡シーホーク、福岡PayPayドームを会場に「第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2023)」と市民参加型イベント「脈博~Heart Beat Expo~」が開催されました。

CVITは心血管疾患患者に対する有効かつ安全なカテーテル治療に関する学術会議で、ヒルトンとドーム内に講演会場が設置されました。国内6医療機関からカテーテル手術の中継映像が配信されるなど、その新たな試みに注目が集まりました。期間中のCVIT参加者は歴代の記録を更新する7千名を超え、4年ぶりの対面での開催も相まって、各会場で白熱した発表・討論が展開されました。

また学会最終日には福岡PayPayドームを舞台に、市民参加型のイベント「脈博」が開催されました。市民や患者とともっとフラットな視点で健康について学ぶ機会を持ちたい、という会長の希望により、親子で楽しめるコンテンツが多数準備され、開場直後から多くの親子連れが訪れました。特に目玉となる「血管スライダー」や「お絵かき救急車」といった体験型のアトラクションには長蛇の列ができ、当初の予想を上回る5千名もの来場者でにぎわいました。

会長の福岡山王病院長の横井宏佳先生は、「各方面から大きな反響があり、通常の学会の市民公開講座には来ない40代や50代の親が、子どもと一緒に脈博に参加したことの意義は大きいでしょう。循環器系の疾患で突然死が増える世代が、健康について家族と一緒に考えるきっかけとなれば嬉しい。」と感想を述べられました。CVITにおける外国人の積極的な参加のみならず、「脈博」には、家族連れや学会のポスターを制作した障がい者福祉事業所のメンバーが参加するなど、これまでない地域参加型のインクルーシブなイベントとして、人々の記憶に残る学術会議となりました。



フィナーレの「脈博音頭」総踊り



子どもたちに大人気の「お絵かき救急車」

Interview インタビュー

学会主催者に聞く “市民と学会を繋ぐもの”

令和4年6月12日(日)～17日(金)、九州大学伊都キャンパスにおいて、日本初開催となった『第12回グローバルヤングアカデミー総会兼学会(GYA)』を主催された岸村顕広先生にお話をお伺いしました。

Q1 コロナのためにハイブリッド開催となりましたが、GYAの誘致から企画・運営まで、無事終わられてのご感想をお聞かせください。

アカデミーは、研究を進めるためにはどうすればよいかを考えるための組織で、そのために「様々な人をつなぐ」機会にしたいと考えました。

この開催を通じ、異分野、グローバルと地域そして世代を超えた方々ともつながることができ、普段の研究ではできない学術振興に取り組む貴重な機会となりました。世界では、SDGsや国際紛争など、グローバルで専門の領域を超えた解決が求められていますが、それらの課題における意識レベルの共通点やスピード感の違いも認識することができました。



■岸村顕広先生プロフィール

九州大学大学院工学研究院応用化学部門/
分子システム科学センター准教授
九州大学総長補佐、九州大学社会連携
推進室科学コミュニケーション推進
グループ(Q-String)協力教員、第24/25期
日本学術会議連携会員
(専門) 高分子化学、生体関連化学、医用化学



グローバルヤングアカデミー (GYA)

2010年にドイツで設立され、6大陸から約100か国200名の優秀な若手・中堅研究者が集まる独立した科学アカデミー。学問的な卓越性と社会との関わりへのコミットメントに基づいて、分野を超えて選出される。GYAのビジョンは、「すべての人のための科学、未来のための科学」で、その使命は世界中の若手科学者や研究者の声を届けること。近年、各国でヤングアカデミーが設立され、急速に拡大、活発に活動するようになっている。

<https://globalyoungacademy.net/>

Q2 「感性と理性のリバランス：包括性と持続に向けた科学の再生」をテーマに掲げていましたが、具体的にどのようなセッションが行われたのでしょうか？また市民向けに開催されたプログラムもありましたか？

「シチズンサイエンスを促進する社会システムの構築を目指して」というパネルディスカッションやプレナリーセッションでは「社会の中の大学」をテーマに、SDGs時代に求められる大学の役割などについて、若手研究者以外の方もゲストに招いて、議論しました。特に、SDGsの取組においては、社会で受け止める当事者がどう感じるかという感性が大事で、現場で発生する課題を解決する際に理性或いは学術の専門知識が必要となるといった、自分事になりにくい課題についての議論ができたと思います。

また、福岡市科学館のご協力の下、「創造する未来と科学の可能性」というテーマで、高校生向けのワークショップを開催しました。オンラインでは、「若手世代で考える30年後の社会：SFプロトタイプワークショップ」と題してサイドイベントを行い、若手ならではのSFの世界を創造しました。日本での開催にあたっては、若手研究者支援をしている原田弘二基金の多大な支援を受けたことが、大きな後押しとなりました。



高校生たちと行ったワークショップ

Q3 「シチズンサイエンス」とはどのようなものですか？

シチズンサイエンスは、一般の市民によって行われる科学的活動で、現在世界的に拡大しており、国内では構築途上にあります。パネルディスカッションでは、海外と比較した国内の現況を把握し、実践にあたり解決すべき課題を議論しました。以前に我々が出した提言と合わせて、さまざまな場面で科学が社会をサポートできる装置となるシチズンサイエンスの促進に向けた議論を進めたいと考えています。

Q4 九州大学をハブとしてハイブリッド開催されたGYAでは、80か国延べ791名の世界の若手研究者たちが、さまざまなテーマについて議論されたということですが、そのレガシーについてお聞かせください。

一つ目は、『福岡宣言』を発信しました。科学者と社会の双方が、創造性、好奇心、コミュニケーションを重視し、科学者、利害関係者、市民間の信頼構築と強化を目指すとともに、市民にとって重要な問題を解決するために、ボトムアップのニーズを科学的プロセスに持ち込むための支援をステートメントにまとめました。

二つ目は、九大創立111周年記念行事の一つ、「若手研究者を核とした各種国際連携イベント」として、大学院生を巻き込むことができ、次世代研究者との対話を実施できました。

三つ目は、九大・芸術工学研究院の知足美加子先生が創作された『植物の一年時計』というアートガーデンです。これは、九州大学にある「生物多様性保全ゾーン」に自生する在来種を中心に植栽されたもので、現在の植生を将来世代に伝えるものです。九州大学伊都キャンパスのビッグオレンジ前で是非ご覧下さい。



アートガーデン「植物の一年時計」

国際プラネタリウム協会2026年大会 (IPS2026) が、福岡に開催決定！

2023年6月、日本プラネタリウム協議会、福岡市科学館、福岡観光コンベンションビューローが連携して誘致を進めていた国際プラネタリウム協会 (IPS) 2026年大会が、国内30年振りに福岡で開催されることが決定しました。

IPSはプラネタリウム関係者のための世界的な協会であり、世界50カ国に約500の会員を有します。福岡大会では、"One Earth, One Sky"をテーマに、会員が一堂に会し、天文学やプラネタリウムの発展に向けたネットワーキングやアイデアの共有が行われます。

日本は世界第2位のプラネタリウム大国であり、全国約300館ほどのプラネタリウムが所在し、九州では北九州、大分に新しいプラネタリウムが開館し、宮崎には九州最大のプラネタリウムがあります。大会終了後に会に参加される海外のみならず、日本の魅力をアピールできる絶好の機会となることでしょう。福岡観光コンベンションビューローは、誘致から開催まで引き続き支援してまいります。

【会議名】 国際プラネタリウム協会2026年大会
(Conference of the International Planetarium Society-IPS 2026 Conference-)

【開催期間(予定)】 2026年6月11日～20日 (9日間)

【参加予定人数】 600名(内訪日外国人参加者450名)



誘致の最終プレゼンテーションを終えたメンバー



IPS2026のメイン会場となる福岡市科学館

賛助会員様の紹介

★株式会社新出光 経営企画部経営企画課ラクすくチームの山口様に伺いました



ラクすくは、EVスクーターを1分単位から借りる事ができ、専用のポート場所であれば、どこでも乗り捨てが可能な新しい交通モビリティシェアサービスです。

【価格】 1分12円/1DAYプラン 2,200円 (24時間使い放題)

【ポート】 アプリでご確認ください。

福岡市各所 (例) BiVi福岡、マリノアシティ福岡、コメダ珈琲博多駅東店、六本松421 等



ラクすくの
利用方法



LINE友だち登録



ポートを検索



スクーターを予約



鍵の取り出し



ヘルメットの着用



専用ポートに返却

■このビジネスを思いついた理由や取組もうと考えたきっかけを教えてください。

本事業を発案した2020年当時は、福岡市でも自転車や電動キックボードのシェアが拡がりつつある頃でしたので、モビリティシェアを注目していたのですが、いずれも移動距離が23km程度がボリュームゾーンのニーズであることから、中距離の移動ニーズを満たす手段として、スクーターのシェアがあれば移動課題の解決に繋がるのではないかと考えたことがきっかけです。

■ここまで一番苦労したことがあれば教えてください。

アプリや車両の貸出システム、ハード機の開発フェーズが最も苦労しました。具体的には、無人で貸し出す仕組みの構築や、UXを高めるアプリ開発を日々考えていた時期が苦労しました。

■逆にうれしかったこと取り組んでよかったと思ったことがあれば教えてください。

街中でラクすくに乗っている利用者を初めて見かけた時が、一番うれしかったです。最近ではよく見かけるようになってきて、直接お客様から感謝の御言葉を頂戴する事もあり、このサービスを始めて本当に良かったと思います。

■「ラクすく」チームの目指す方向性について教えてください。

まずは福岡市内でポート100カ所を作り、福岡市内の移動をもっと便利にしたいと思います。

■賛助会員の皆さんやオーシャンズ読者に伝えたいことがあれば、コメント願います。

音も静かで、乗り心地バツグンのラクすくに一度ライドして、福岡の街を探検してみてください！



らくスクチームの皆さん

ホークスから 九州をもっと! 熱く! 元気に!

福岡市を拠点とするプロ野球チーム、福岡ソフトバンクホークスに、
観光分野における地域貢献についてお話を伺いました。

Q1 地域貢献において、ホークスは今後どのように関わっていきたいですか？

「ホークスが生活の一部になってほしい」ということを大事にしていきたいと考えています。つまり、毎日のニュースや新聞で取り上げてもらうことで、ホークスを身近な存在として感じてもらいたいということです。その他にも、街中やスーパーで応援歌を流したり、あるいは鷹の祭典などのイベントでバスやタクシーの運転手の方々にユニフォームを着用してもらったりすることで、一緒に応援していただきやすいような環境を作っていく。そうすることで、ホークスを生活の身近なところで感じやすくなりますよね？それが大事だと私たちは考えています。また、行政との関わりも大事にしています。例えば、福岡市や北九州市、糸島市、筑後市などと連携協定を結び、2か月に1回“ホークスだより”を発行し各エリアの住宅に郵送しています。ただイベントをするだけでなく、街中での盛り上げや生活における身近な場所（スーパーなど）で、ホークスとの接触を増やしていくことにより、それが生活の一部となり、ホークスを好きになってもらうきっかけになることを常に考えています。



取材協力者プロフィール

池田 優介 様：広報室 室長
奥村 純一 様：新規事業開発室 次長
吉田 直弘 様：E・ZOビジネス部
E・ZO1課 課長代行

Q2 ホークスが福岡市へのインバウンド効果にどのように貢献されているのかについて教えてください

2020年にPayPayドーム横に複合エンターテインメント施設「BOSS E・ZO FUKUOKA（ボス イーズ フクオカ、以下E・ZO）」がオープンしたことや、コロナ禍が終わり野球観戦も再開したことから、「人が集まるエリア」になり始めているのではないかと考えています。これまでの福岡での観光と言えば、太宰府に行ってみようとか、博多・天神に行ってみよう、福岡タワーに行ってみようということが定番だったと思いますが、E・ZOができたことによって、福岡市内に“新しい観光の拠点”ができたのではないのでしょうか。「福岡に来たら、E・ZOに行ってみよう」という考えを創出させていくことで、“新しい観光地”として福岡市への観光客誘致に貢献できているのではないかと考えています。

Q3 今後、福岡市へのインバウンド効果にさらに貢献していくために取り組みたいことや目標としていることはありますか？

私たちが新しく建てたE・ZO内には「チームラボフォレスト 福岡 - SBI証券」があり、インバウンド観光客から非常に人気を得ています。現在チームラボの常設ミュージアムは東京と福岡の2拠点しかなく、特に東京は外国人観光客の割合が多く、予約も取りにくい状況になっています。福岡は新しく誕生したばかりなので、これから少しでも多くのお客様に存在を知っていただき、新たな観光地として育て上げていくという想いで取り組んでいきます。

最後に

最後までご覧いただきありがとうございます。今回私たちは、プロ野球球団である福岡ソフトバンクホークスが福岡市の観光にどのように密接に関わっているのかに着目し、取材をさせていただきました。取材の中でホークスが、福岡市、九州全体に貢献していくという姿勢が垣間見えた気がいたします。私たちは今回の長期インターンシップにおいて得た知識や経験を糧に、将来の福岡市や九州の観光を支えていく人材になりたいと思います。



記事作成：西井田さん（左）と加藤さん（右）
【当財団インターンシップ生】

マーケティングデータ

(表1) 福岡市における延べ宿泊者数の推移

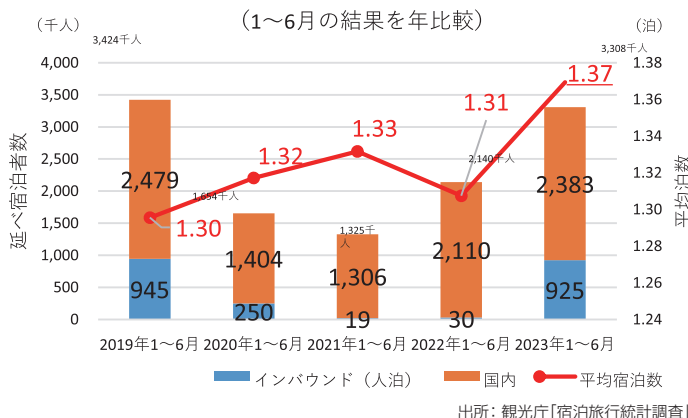


表1は、2019年~2023年における福岡市の1月~6月延べ宿泊者数の合計を比較をしたものです。

2023年全体の延べ宿泊者数は、コロナ前の2019年1月~6月と比較して97%まで回復しており、国内客延べ宿泊者数は96%、インバウンド延べ宿泊者数は98%まで回復しています。さらに、6月単体での数値における延べ宿泊者数は2019年同月比で107%とプラス成長となっており、福岡県では、全国旅行支援が2023年10月21日まで延長されることや、7月から中国からの新たな国際便(寧波-福岡線)が増えたことから、今後12月までの半年間で更なる伸びが期待されます。また、平均宿泊数は2019年の1.30泊から2023年は1.37泊に増加しており、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の2023年4~6月期の全国調査結果によると、2019年同期比の、宿泊費の消費額が1.15倍に増えています。円安効果も相まって、全国的に宿泊数の増加傾向があることが報告されていることから、インバウンド旅行者が全体の平均宿泊数の底上げをしたことが予想されます。

毎週★KBM

K…「観光」「交流」「活性化」「関係性」「掛算」など
BM… ビジネスマッチング (Business Matching)

(公財) 福岡観光コンベンションビューローの賛助会員様と地域の企業・団体を対象としたビジネスマッチングの場を提供します！

2023年10月4日(水)~2024年2月28日(水)までの毎週水曜日、合計20回にわたりビジネスマッチングを行います。様々な企業・組織同士が情報交換、交流、連携、協力、協働できる場づくりの一環として、お役立ていただきたい、と考えています。

エントリーの仕方

FCVB 公財 福岡観光コンベンションビューロー
 Fukuoka Convention & Visitors Bureau

福岡観光コンベンションビューロー



スクロールして、上記バナーをクリック

ホスト企業(団体)のみなさん

エントリーはこちらから!!

チラシデータはこちらから!!

ゲスト企業用【工事中】

ゲスト企業のエントリーはこちらから!!

エントリーはここから

新賛助会員様ご紹介

問合せ先: ☎ 092 (733) 5050 会費 年間1口2万円から

新たにご入会いただきました。(順不同・敬称略) 皆様のご入会をお待ちしております

カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社

〒814-0002 福岡市早良区西新 5-2-8 ☎ 092-833-6266

CCCはプラットフォーム事業、データベースマーケティング事業、公共サービスや地域共生に関わる事業のほか、数々のネットサービスや新たなプラットフォームサービスを企画し、プラットフォームを通じて新しいライフスタイルの提案を行っています。

株式会社ホンプロ

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 2-2-11 富士ビル赤坂 8 F ☎ 092-753-6103

私たちは「働き方の未来を創る」をビジョンに掲げ、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)が溢れる社会を実現したいと考えております。九州各地でワーケーションを実施しており、ワーケーション制度を導入する企業のサポートも行っております。

(株)佐伯コミュニケーションズ 福岡営業所

〒815-0083 福岡市南区高宮 5-3-9 エルソール高宮 202 ☎ 092-533-9234

企画立案から、システム開発、デジタルコンテンツ、従来の印刷物を含め、あらゆるメディアを活用した、総合的な情報伝達サービスを行っております。Pマーク認証も取得しており、負担がかかる業務単位でのアウトソーシングのご相談も承っております。

メディアインターナショナル株式会社

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-1-33 はかた近代ビル 2F ☎ 092-474-1738

海外メディア・旅行社・インフルエンサー等の招聘事業、海外展示会出展やセミナー開催事業の請負実績があり、九州及び中国地方を中心に海外向けプロモーション事業を積極的に展開。市場は、東南アジアを主に、台湾・香港、欧米豪と幅広く対応。

株式会社ネクストビート

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-9-10

ホテル・旅館業界などの宿泊業界で働きたい求職者と、日本のおもてなしを担う人材を求めるホテル・旅館をマッチングする宿泊業界に特化した就職・転職支援サービス「おもてなしHR」を運営しています。宿泊業界の人材でお困りの際はお声がけください。

焼肉青華

〒810-0003 福岡市中央区春吉 3-21-28-2F ロマネスクリゾート西中洲ビル ☎ 092-791-8559

福岡市中央区春吉にて焼肉青華というお店をやらせていただいております。A5等級クラスの和牛をリーズナブルに快適な空間で食べていただける場を提供しております。席数も多く色々なシーンでご利用頂けたらと思っております。

学校法人 滋慶学園 福岡医健・スポーツ専門学校

〒812-0032 福岡市博多区石城町 7-30 ☎ 092-262-7664

福岡医健・スポーツ専門学校は、健康・スポーツ・医療・福祉業界の10学科を持つ総合校です。産学連携教育を通して業界で即戦力となる人材を育成し、慈恵学園86校のグループを生かした国家試験サポートも充実。開講以来、就職希望者は全員就職しています。

	開始	終了	大会・会議の名称	参加地区	参加人数	開催会場	事務局・問合せ先	☎
学術大会	11月4日	11月5日	日本臨床細胞学会 第62回 2023年秋大会	全国	4,000	福岡国際会議場/福岡サンパレス (ハイブリッド)	大会事務局:佐賀大学医学部産科婦人科学教室 運営事務局:(株)コングレ九州支社	092-716-7116
	11月6日	11月8日	第14回アジア細胞治療学会	国際	200	九州大学 医学部 百年講堂	アジア細胞治療学会	—
	11月10日	11月11日	第66回日本脳循環代謝学会学術集会 (BRAIN Japan 2023)	全国	500	アクロス福岡	学会事務局:福岡歯科大学 総合医学講座 内科学分野 運営事務局:(株)コングレ九州支社	092-716-7116
	11月10日	11月12日	日本国際政治学会 2023年度研究大会	国際	1,000	福岡国際会議場	(一財)日本国際政治学会	—
	11月12日	11月12日	第18回長時間透析研究会	全国	550	九州大学 医学部 百年講堂	事務局:医療法人医心会 福岡腎臓内科クリニック 運営事務局:(株)コングレ九州支社	092-716-7116
	11月12日	11月17日	第14回窒化物半導体国際会議 (ICNS14)	国際	1,200	ヒルトン福岡シーホーク	日本結晶成長学会 ICNS14事務局	—
	11月14日	11月15日	第74回日本気管食道科学会総会 ならびに学術講演会	全国	1,000	福岡国際会議場	事務局:独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 消化管外科 運営事務局:(株)コングレ九州支社	092-716-7116
	11月16日	11月17日	第26回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会	全国	700	アクロス福岡	主催事務局:九州中央病院 整形外科 運営事務局:(株)ドゥ・コンベンション	03-5289-7717
	11月17日	11月19日	カテーテルアブレーション関連秋大会 2023	全国	2,000	福岡国際会議場	学会事務局:(一社)日本不整脈心電学会事務局 運営事務局:(株)ACE エンタープライズ	03-6261-0245
	11月18日	11月19日	一般社団法人日本スポーツ歯科医学会 第34回総会・学術大会	全国	600	福岡歯科大学 50周年記念講堂	大会事務局:福岡歯科大学 医科歯科総合病院 口腔インプラント科	—
	11月20日	11月22日	第2回環境に配慮した持続可能な建設技術に関する 国際シンポジウム (CREST2023)	国際	340	福岡国際会議場	CREST2023 実行委員会 九州大学グローバル地盤災害研究グループ	092-802-3369
	11月30日	12月2日	第53回日本臨床神経生理学会学術大会 第60回日本臨床神経生理学会技術講習会	全国	1,800	福岡国際会議場	日本臨床神経生理学会 運営事務局:(株)JTBコミュニケーションデザイン	092-751-3244
	12月9日	12月10日	第71回日本職業・災害医学会学術大会	全国	1,000	アクロス福岡	大会事務局:労働者健康安全機構九州労災病院 運営事務局:日本コンベンションサービス(株)九州支社	092-712-6201
	1月27日	1月28日	(一社)コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会 第2回全国大会(研修・交流会)	全国	500	九州産業大学	(一社)コミュニティ・メンタルヘルス・ アウトリーチ協会全国大会運営事務局	—
1月28日	1月28日	第6回日本抗加齢医学会九州地方会	九州	200	電気ビル共創館	運営事務局:(株)ジースコンベンションサービス	092-722-2811	
展示会・イベント	11月4日	11月4日	NAKAMURA ファーマーズマーケット	九州	2,000	中村学園大学	学校法人中村学園法人本部 経営企画室	092-851-2594
	11月10日	11月12日	第4回 福岡サルサフェスティバル 2023 (FUSAFES 2023)	国際	350	ラテン文化センター ティエンポ	ラテン文化センター ティエンポ	092-762-4100
	11月11日	11月12日	福岡キャンピングカーショー 2023	九州	12,000	マリメッセ福岡 A 館	(一社)日本RV協会	092-844-8837
	11月12日	11月12日	ワンヘルスフェスティバル 2023	福岡県	20,000	舞鶴公園 三の丸広場	福岡県 ワンヘルス総合推進室	092-643-3622
	11月14日	11月14日	九州・山口ベンチャーマーケット 2023	九州	500	JR 博多シティ JR 九州ホール	福岡県商工部新事業支援課	092-643-3591
	11月14日	11月15日	FOOD STYLE Kyushu 2023	九州	15,000	マリメッセ福岡 A 館/ マリメッセ福岡 B 館	FOOD STYLE 実行委員会 (株)イベント内)	03-6812-9423
12月22日	12月25日	FUKUOKA MOBILITY SHOW 2023	九州	92,000	マリメッセ福岡 A 館/ マリメッセ福岡 B 館	福岡モビリティショー実行委員会 西日本新聞社企画事業室	092-711-5583	

*上記内容は、9月初旬の情報です。内容が変更になる場合があります。 ※賛助会員の方は、上記記載以外及び1月以降のスケジュールも当財団のホームページで閲覧いただけます。

九州大学伊都キャンパス 「MICE 相談デスク」開設中

当財団の Meeting Place Fukuoka (MPF) は、九州大学伊都キャンパスのセンター4号館(国際部内)に教職員の方を対象とする学会等コンベンションの誘致・開催支援に関する相談窓口を開設しています。お気軽にご相談ください。

●九大 MICE 相談デスクのお問合せ先

TEL : 092-733-0101

Email : mpf-kd@welcome-fukuoka.or.jp

■ MPF のサポート例

- ・主催者向け助成金の交付
- ・サポート企業の紹介
- ・観光・視察ツアーのご提案
- ・外国人参加者への支援(体験プログラム、観光・語学ボランティアの紹介など)

15年記念でプレゼント枠拡大! 「さわらの秋」スタンプラリー

9月4日(月)から11月15日(水)まで、早良区では、飲食店や雑貨店などの協賛店を巡るスタンプラリーを開催。500円以上のお買い物をして、スタンプを4つ(北部エリアで2つ、南部エリアで2つ)集めた方、先着700名に「脇山米(1kg)」をプレゼントします。また、先着に間に合わなかった方は、早良区の特産品セットなどが当たる抽選にご参加いただけます。

さらに、早良区の秋の風景をInstagramで投稿すると抽選でチエキなど素敵な賞品がもらえるキャンペーンも。詳しくはHPやパンフレットをご確認ください。

■お問い合わせ先

さわらの秋企画運営委員会事務局(早良区役所企画課内)
TEL:092-833-4412



【パンフレット】
※各区役所や市役所1階情報プラザなどで配布中



[HP]